

令和元年度第3回千葉北警察署協議会

1 開催日

令和元年12月19日（木曜日）

2 開催場所

千葉北警察署

3 出席者

・協議会委員10人 ・警察署16人

4 議題

(1) 管内の治安情勢について

(2) 管内の交通情勢について

(3) 県民の期待と信頼に応える強い警察に向けた取組

①若手警察官の早期戦力化

②女性の視点を一層反映した組織運営の推進について

5 委員からの意見要望等

【質問】

交通対策で自転車の悪質運転者に対する交通切符を適用し検挙とある。

どのような行為が悪質運転であるのか。

【回答】

飲酒運転、信号無視、携帯電話の使用、一方通行違反等があります。当署管内では、信号無視と無灯火運転です。

【質問】

スマートフォンに対する取締りが強化されたが、千葉北警察署管内ではどのような状況であるか。

【回答】

改正の内容は、12月1日から運転中のスマートフォン等の使用罰則が強化され、以前の約3倍になりました。検挙状況は、以前に比べ件数は減ってきており、罰則強化が浸透し、違反が減少していると思われます。

【質問】

ホイッスル作戦について、物理的にホイッスルを鳴らすのか、指導警告1, 557件とあるが、ホイッスルが鳴りっぱなしの状態であるのか。

【回答】

止める時にホイッスルを鳴らしています。ホイッスルを鳴らすことにより、違反者

に違反の認識を持たせるのです。

【質問】

ホイッスル作戦を継続したことにより、マナー違反は減少する傾向にあるのか。

【回答】

緩やかですが浸透していると思われます。

【質問】

運転中のスマートフォン使用による取締りを受けるのは、どのような人が多いのか。

【回答】

若い方、社会人になりたての方、高校生等への適用が多いのが現状です。

【質問】

高齢者の免許証の自主返納セミナーというのは、具体的に集会場のようなところで、高齢者を対象に絞って実施されるのか。

また、セミナーの内容は、高齢者が運転を継続するのは危険だということや免許を返納後、何らかの助成を受けられるという案内を行うようなものであるのか。

【回答】

その通りです。

千葉県個人タクシー協会では、1割助成を受けられる他、当署管内では、タクシー会社5社が料金を半額にしています。また、イオンが移動販売を行っており、車を使用しなくても、買い物ができるような仕組みがあることも紹介しています。

【意見】

災害対応は大きな課題であり、今年の台風の影響により、花見川区内においても主要道路の信号機が滅灯したが、行政としてその時の対応がうまくできなかった。

台風15号の体験をしたことで、次の台風19号では、花見川消防署と花見川区役所が協力し、花見川消防職員が花見川区役所に待機し、住民の対応をとった。災害は風水害だけではないことから今後は、行政、消防、警察と協力して取り組みたい。

【質問】

携帯電話の使用運転違反は、情報端末やカーナビの操作についても適用されるのか。

【回答】

罰則強化の中の取り締まるべき行為は、以前と全く変わりはありません。「携帯電話を使用して運転してはいけない」という項目があり、「画像を表示する装置」は全て該当します。従って「画像を表示する装置」を手に持って見ながら運転する行為は、全て取締りの対象になりえます。

【意見・質問】

若手の育成について、今年の4月から警察学校の校則がかなり変わったという新聞記事を読んだ。「髪型」「外出時にチノパンツの着用」等が改正されたとのことであり、この記事を読んで「以前はクラシックな校則だったんだ」と少し驚いた。校則を変えて行くということは警察も若手を育てるということで本腰を入れているんだと、とてもインパクトのある記事であった。

高校教員も団塊の世代が、多数の退職し若手の採用の割合が多くなり、若手の育成に苦労している。

育成方針として、若手に責任のあるポジションに就けて実践力を磨いて貰うのだが、期待している若手に少し負荷を掛けようと思ったが、断られたりしている。仕事を通じて、しっかりと人を育てるということをきちんと伝えて、負荷を掛けて育てる流れを作る必要がある。

警察も様々な現場に若い人を送り込んで実践から教育をしているということだが、派遣された若い警察官からは、どの様な意見・感想があるのか。

【回答】

若手の声として、市民との対話の部分いわゆるコミュニケーションをとるのが難しいと言っている者が多いです。

実際、仕事として巡回連絡や事故の現場臨場等、初めて対面する人といきなり話をする中で、話題や、聞かなくてはいけないこととかが、旨く言葉にすることが出来ない、その点についてははじめはマンツーマンで指導をするのですが、先輩、上司のやりとりを目の当たりにし「非常に勉強になる」「自分の足りないところを痛感する」と言った声が多いです。

指導する者としてこの様な点を考慮し、マンツーマンで指導しながら、出来るところはどんどんやらせて指導しています。

【意見】

私の勤務する高校にも警察官を目指す生徒がおり、その生徒に対する面接のアドバイスを警察官からして貰った。9月に警察学校を卒業し、千葉北警察署に赴任したという二人の若い警察官は非常に礼儀正しく、人に対する配慮等の所作も素晴らしく、言葉遣いも丁寧であった。その時あらためて「警察の若手教育はすごい」と思った。

【意見】

山王中学校区では、オートバイの爆音走行が横行しており、通学中の生徒を待ち構えては声を掛け仲間に引き込もうとしている。中学校からも中学生や付近住民に対して、情報提供の呼び掛けや注意喚起、警察への通報要請がなされている。

山王中学校区は若葉区になり、千葉東警察署管内となるが、学校周辺様々な場所で

同様の行為がなされていると思うので、警戒をお願いしたい。

更に、年2回夏休み前と冬休み前には学区内点検活動を実施している中で、コンビニエンスストア、ホームセンター等から、「万引きが未だに見受けられる」との連絡がある。以前は、万引きの対応について該当店舗の店長が万引きした学生を捕まえ、学生に反省の意思が見えないと学校に通報してくるといったケースが多かったが、やはり、警察を通さずに事进行处理してしまうことは、教育上芳しくない。学校側から各店舗店長にたいして「万引きを認知した場合は警察に通報を」と要請してあり、今も継続している。通報があった場合は協力願いたい。

【意見】

子供の声で訴える「電話で詐欺の広報」をする警察車両を見かける。

免許証の自主返納についても子供の声で訴える広報も有効ではないか。

また、年金支給等銀行を利用する高齢者も多いことから、銀行カウンター下に免許証の自主返納のポスター掲示も有効ではないか。

【質問】

障害者が通行禁止場所を通行し、交通違反処理された事があった。障害者の違反除外はないのか。

【回答】

通行禁止場所を通行するには通行許可証が用意されています。

例えば、スクールゾーンなどで規制区域内に住居がある場合には、当事者の申請によって証明書を発行します。その証明書を提示していただければ、取締りを受けることはありません。その中には、障害者も含まれており、障害者の乗車する自動車も申請することができます。障害者若しくは家族が申請し証明書を取得していただき、当該禁止場所を通行する場合には証明書を提示して頂ければ取締りを受けることはありません。

【要望】

防犯カメラについて、県から補助を受け設置しているが設置後の運用と経費が、年間少なからずかかっている。良い機械を設置するとメンテナンス費用についても継続してかかり、維持できなくなってしまう。維持費について何とか手当していただければ、増設していくことが可能ではないか。市で対応できるものであれば対応を考えてはいるが、画像を利用する警察としても対応してほしい

【回答】

昨年予算で、県警が県内5駅（千葉、船橋、西船、松戸、柏）一駅あたり10機ずつ計50機を設置しました。今後の方針として更に県予算で増やして行く方針です。

千葉市の場合は市の予算で設置していると思いますが、住民からの設置要望となると、市が第一の窓口になるものと思います。警察で設置するカメラのみが県予算で賄うこととなります。県警の予算において、市が設置した防犯カメラの維持管理費について補助することはできないと思われまます。

【質問】

免許証自主返納セミナーの募集はどの様に行ったのか。

また、「LED付きの大きな止まれ標識を設置した」「交差点内の路面を赤色表示に変えた」ことで、事故が減少したとの報道を視聴した。前回見学した狭路の事故多発場所の事故対策についてその後の対応について知りたい。

【回答】

免許証自主返納セミナーの開催場所は、高齢者入居施設で、事前に警察から開催要望を示したものです。

現在は、高齢者施設を中心にセミナーを開催しています。今後は、どの様に広く免許証自主返納セミナー開いて行くかが課題です。

交通規制の問題は、行政との連携が不可欠で、警察の要望と道路管理者の予算の絡み、表示は道路管理者、規制は公安委員会といった管轄の違いもありますが、関係団体と協議し、道路環境整備を進めていきたいと考えております。

また、前回見学した場所については、道路標示の修正と信号機の角度及び信号サイクルの調整を行いました。

【質問】

関西の暴力団抗争があった。千葉市内の暴力団の動向を教えてください。

【回答】

関西の事件は、六代目山口組の分裂から始まった事件であり、今後、特定抗争指定団体として厳しく取り締まっていくと思います。

当署管内暴力団事務所の把握はありません。

警察は、一般市民が巻き込まれる様な対立抗争は絶対に起こさせないという強い対決姿勢で、今後も情報収集や取締りを行っていきます。

【質問】

若手警察官の早期戦力化について、警察官は、事件や事故以外でも地域に密着して活動していることを知った。

警察官の活動が、就職活動をする学生に伝わっていないのが現状であり、警察官になりたいと思う学生を増やすためにも説明会、体験会があれば教えてほしい。

【回答】

来年3月から警察官募集が始まります。当署管内には千葉大学をはじめ、敬愛大学、千葉経済大学等に警察官募集で係員が回っております。今後もより優秀な人材を確保するため、皆さんの協力のもと各大学、高校に足を運ぶ考えであります。